

エコアクション21

2024年度環境経営レポート

(2024年6月～2025年5月)



森崎建設株式会社
MORIZAKI CONSTRUCTION.CO., LTD.
TEL: 0884-36-2944
FAX: 0884-36-2218

発行日 2025年9月1日



環境経営方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、公共・民間工事等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 土木工事、営業活動及び事務活動等を通じて、技術的・経済的に可能な範囲で環境経営システムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め全従業員に周知し継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を守り、行政機関・団体・地域の要請に協力すると共に、当社が約束したことを遵守します。
3. 土木工事、営業活動及び事務活動等において、環境に与える影響を削減するために、次の事項に重点管理テーマとして優先的に取り組みます。
 - ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素の削減に努めます。
 - ② オフィス等における一般廃棄物の削減に努めます。
 - ③ 産業廃棄物の分別、及びリサイクルの推進に努めます。
 - ④ 水使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 事務用品のグリーン製品の優先的な購入に努めます。
 - ⑥ 環境経営の継続的改善に取り組みます。
 - ⑦ 環境に配慮した建設工事の推進に努めます。
4. 環境保全に関する地域での社会貢献活動に努めます。
5. ICT活用の積極的導入を目指し、工期短縮・人材確保・顧客満足度向上に努めます。
6. この環境経営方針は、全社員に周知し、実行を促すと共に社外にも公表します。

制定日 2010年8月13日
改定日 2020年12月1日
2021年11月5日
2024年2月16日

森崎建設株式会社

代表取締役社長 森崎 善人

登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
森崎建設株式会社 代表取締役社長 森崎 善人
- (2) 所在地及び対象組織
〒779-1510
本 社 徳島県阿南市新野町新富82番地1
資材置場 徳島県阿南市新野町月夜
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者 森崎 美保 担当者 森崎 美保・森崎 祐希
連絡先 TEL：0884-36-2944
FAX：0884-36-2218
E-mail：morizaki@mvi.biglobe.ne.jp
- (4) 事業活動
建設業
土木工事業、とび・土工工事業

(5) 事業の規模

項目	2019年度	2023年度	2024年度
売上高	287 百万円	167 百万円	221 百万円
従業員	9 名	8 名	8 名
本社床面積 ※	786 m ²	786 m ²	786 m ²
資材置き場面積	290 m ²	290 m ²	290 m ²
工事高補正係数	基準年度	0.58	0.77

※ 事務所(464m²)+資材倉庫(322m²)

※ 工事高補正係数: 当年度工事高(百万円)/基準年度工事高(百万円)

(6) 取得している許可の内容

○ 建設業許可

許可年月日：令和3年8月29日

許可番号：徳島県知事許可(特-03) 第314号

有効期間：令和3年8月29日から令和8年8月28日

種類：土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、塗装、水道施設解体工事業

○ 産業廃棄物収集運搬業許可

許可年月日：令和2年12月9日

許可番号：3600157130

許可の有効年月日：令和7年10月14日

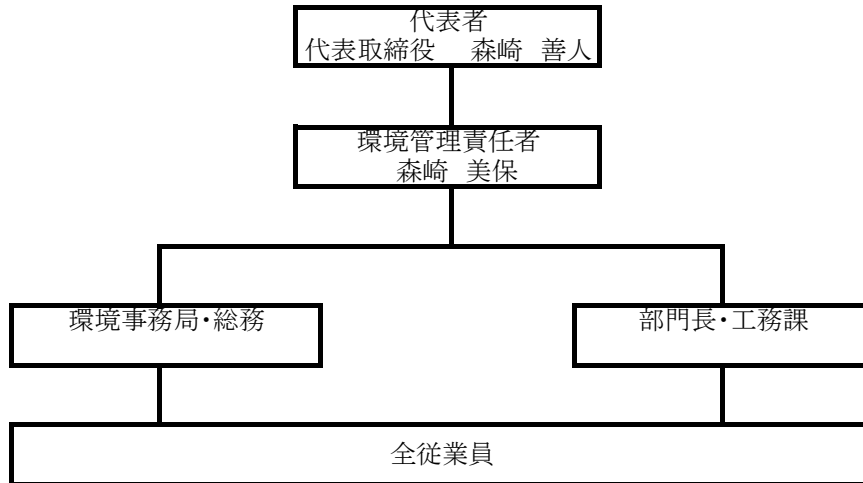
今期においては、実績はありませんでした。この業許可は除外しております。

(7) 対象範囲:全組織、全活動を対象としている。(上記(2)と(4))

(8) 当年度(2024年度)の環境目標と実績

項目	単位	2024年度(目標)			2024年度(実績)			達成率	評価	
		事務所	現場	合計(全社)	事務所	現場	合計(全社)			
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	12,060	41,250	53,310	7,651	55,404	63,055	86%	×	
二酸化炭素排出原単位	kg-CO ₂ /売上高	54	187	241	35	250	285	84%	×	
電力使用量	kWh	14,983	0	14,983	13,577	2,077	15,654	96%	×	
燃料使用量	ガソリン	L	1,884	2,216	4,099	641	1,879	2,520	163%	○
	軽油	L	0	13,758	13,758	0	19,419	19,419	71%	×
	重油	L	0	0	0	0	0	0	100%	○
	灯油	L	0	0	0	0	0	0	100%	○
一般廃棄物排出量	kg	470	-	470	48	-	48	979%	○	
産業廃棄物	排出量	t	-	263	263	-	805	805	33%	×
	リサイクル率	%	-	100	100	-	100.0	100.0	100%	○
水使用量	L	17,860	-	17,860	12,400	-	12,400	144%	○	
グリーン購入の推進	%	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100%	○	
環境に配慮した施工の推進	%	-	100	100	-	100	100	100%	○	

森崎建設株式会社 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認 環境関連法規等の取りまとめ表、遵守チェックの結果を承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等取りまとめ表の作成、遵守チェック 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標及びその実績

〈本社(事務所)〉

項目		年度	2024 年度		2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
			2019年度	基準比95%				
			補正係数 0.77					
		基準年度	目標	実績	目標	目標	目標	目標
二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	16,486	12,060	7,651	15,497	15,332	15,168	15,003
	電力使用量(kWh/年)	20,482	14,983	13,577	19,253	19,048	18,843	18,639
化石 燃料	ガソリン使用量(L/年)	2,575	1,884	641	2,421	2,395	2,369	2,344
	軽油使用量(L/年)	0	0	0	0	0	0	0
	灯油使用量(L/年)	0	0	0	0	0	0	0
一般廃棄物 排出量	(kg/年)	495	470	48	465	460	455	450
水使用量	(L/年)	18,800	17,860	12,400	17,672	17,484	17,296	17,108
グリーン購入	%	87.5	100.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0

- 2019年度実績を基準として、二酸化炭素排出量、一般廃棄物及び水使用量については毎年1%ずつの削減を目標とする。
- 電力のCO₂換算係数 0.454kg-CO₂/kWh (四国電力(株) 令和6年度実績)
- 二酸化炭素排出量と電力、化石燃料使用量の目標値については工事高補正係数0.77を乗じた値としている。
工事高補正係数=当年度工事高(百万円) / 基準年度工事高(百万円)
- 一般廃棄物は、事務所と現場を合算とする。
- グリーン購入の数値目標はオフィスの物品の購入割合。
- 化学物質の使用量は、使っていないので目標設定はしていません。

〈現場・作業所〉

項目		年度	2024 年度		2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
			2019年度	基準比95%				
			補正係数 0.77					
		基準年度	目標	実績	目標	目標	目標	目標
二酸化炭素 総排出量	kg-CO ₂	56,391	41,250	55,404	53,007	52,443	51,879	51,315
	電力使用量(kWh/年)	0	0	2,077	-	-	-	-
化石 燃料	ガソリン使用量(L/年)	3,029	2,216	1,879	2,847	2,817	2,787	2,756
	軽油使用量(L/年)	18,808	13,758	19,419	17,679	17,491	17,303	17,115
	重油使用量(L/年)	0	0	0	0	0	0	0
	灯油使用量(L/年)	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物 リサイクル率	(t/年)	277	263	805	-	-	-	-
	%		100	100	100	100	100	100
環境に配慮した 施工の推進	%	100	100	100	100	100	100	100

- 2019年度実績を基準として、二酸化炭素排出量、一般廃棄物及び水使用量については毎年1%ずつの削減を目標とする。
- 産業廃棄物はリサイクル率及び環境に配慮した施工の推進は毎年100%を目標とする。
- 電力のCO₂換算係数 0.454kg-CO₂/kWh (四国電力(株) 令和6年度実績)
- 現場水使用量削減目標未設定の理由について
理由: 散水等使用量が多い物は上水道以外を使用し調達場所は現場ごとにより変わり使用量も現場・条件によって大きく変化するため(発注者等により汲み取り場所を指定される)。その他(使用量が微量であるため)
- 二酸化炭素排出量と電力、化石燃料使用量の目標については工事高補正係数0.77を乗じた値としている。
- 化学物質の使用量は、使っていないので目標設定はしていません。

主要な環境経営計画の取り組み結果と評価及び次年度の取り組み内容（事務所）

1 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

◎よくできた ○ある程度できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価及び次年度の取り組み
電力・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	全体評価 ○	基準年度×補正係数より削減率5%の目標に対し37%の削減と達成できた。電力使用量は、未達成の月もあったが積極的に取り組む事ができました。昼休憩時の消灯や裏面利用は徹底できていた。
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	△	設定温度28℃では猛暑の場合業務に影響を与えている可能性がある。業務環境も踏まえ推進していきたい。
・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	△	業務環境も踏まえ推進していきたい。引き続き各自で防寒対策を行うよう呼びかける。
・不要照明の消灯	○	不在箇所、不要箇所の電気消灯は徹底できている。今後も取組を継続していく。
・OA機器の省エネモード設定	○	現在使用中の機械は省エネモードの徹底ができた。
・省エネ・高寿命電球等の購入(更新時)	-	事務所の照明1/3をLEDに切り替えた。今後も取り組んで行く。
・アイドリングストップ、エコドライブの推進	○	まだ改善の余地が大きいと思われるので、さらに安全運転・省エネ運転に取り組んで行く。
・冷房の控えめ使用(自動車)	○	従業員も積極的に取り組むことができました。引き続き業務環境も踏まえ推進していきます。
・燃費良好・排出ガス対策型等の車重機の購入(更新時)	-	更新なし。
社用車の点検・整備	○	習慣づくように周知徹底していく。

<節電の呼びかけ>



<室内温度の徹底>



(不要照明の消灯)



(冷房28℃・暖房20℃)

<自動車エコドライブの手引き>



- 周知徹底・従業員の意識向上に重点をおいた。
- エアコンについては冷房を使用せずなるべく窓を開けるようにし、暖房時は車のエアコン(A/C)をOFFにするよう呼びかけた。

電力・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(詳細)

注: 原単位による補正係数 0.77

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	979	1,572	1,562	2,030	1,405	1,000	1,156	1,685	1,418	1,772	1,244	925	16,486
今期目標 5%削減	716	1,150	1,143	1,485	1,028	732	846	1,233	1,037	1,296	910	677	12,060
今期実績	299	561	1,092	868	761	363	552	911	653	816	493	282	7,651
判定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□単位 kg-CO₂

<自社太陽光発電>

太陽光発電時に二酸化炭素の排出が無いなど地球環境問題に大きく貢献することができています。発電モニターから太陽光パネルで発電した数値が確認できます。



2 一般廃棄物排出量の削減

取り組み計画	達成状況	評価及び来年度の指示
一般廃棄物の削減	全体評価 ○	基準年度削減率5%に対して90%の削減と達成。今年度より現場と合算。分別もできており、今後も取組を継続していく。
・両面使用の推進	◎	両面使用の推進によって紙の使用量を減らすことができた。更なる両面使用の推進を図る。
・裏紙使用	◎	裏紙の使用は徹底できている。利用範囲を拡大しさらに推進してまいります。
・事務、業務資料電子化推進	○	徐々に推進されてきた。今後さらに取り組んでまいります。

<紙資源有効利用の呼びかけ>



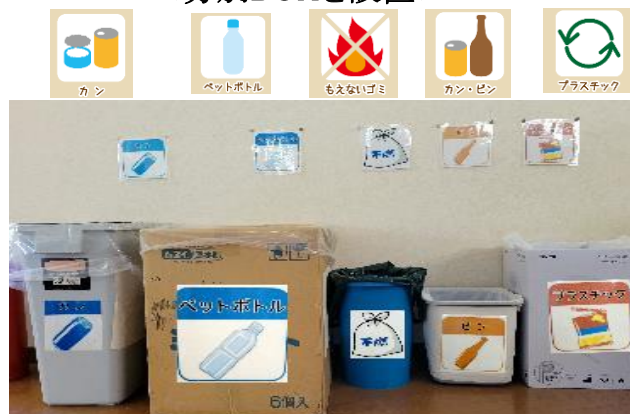
- 周知徹底・従業員の意識向上に重点をおいた。
- 事務所一般廃棄物で紙が一番比重が大きいので、重点を置いた。

一般廃棄物の削減(詳細)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	34	40	44	43	46	40	42	40	49	48	36	33	495
今期目標 5%削減	32	38	42	41	44	38	40	38	47	46	34	31	470
今期実績	6	0	10	0	6	0	10	0	6	0	6	4	48
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□単位 kg

<分別BOXを設置>



3 水使用量の削減(節水活動による水の無駄使いの防止)

取り組み計画	達成状況	評価及び来年度の指示
節水	全体評価 ○	基準年度削減率5%に対して31%の削減と達成。更に推進していく。
・節水の呼びかけ	○	水の使用量の削減は、節水を意識した結果です。今後も節水につとめる。
・手洗い水量の適正化	○	周知徹底により使用量を削減できた。今後も継続していく。

<節水の呼びかけ>



○周知徹底・従業員の意識向上に重点をおいた。

水使用量の削減(詳細)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	1,600	1,700	1,900	1,700	1,600	1,500	1,400	1,600	1,500	1,400	1,500	1,400	18,800
今期目標 5%削減	1,520	1,615	1,805	1,615	1,520	1,425	1,330	1,520	1,425	1,330	1,425	1,330	17,860
今期実績	1,000	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000	12,400
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□単位 L

4 グリーン購入の推進

取り組み計画	達成状況	評価及び次年度の取り組み
グリーン購入の推進	全体評価 ○	特定調達品目・エコマーク商品を優先的に購入する。

グリーン購入の推進(詳細)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
今期目標 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
今期実績	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□該当するオフィスの物品の購入割合を目標100%とした。

主要な環境活動の取り組み結果と評価及び次年度の取り組み内容（作業所・現場）

1 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

◎よくできた ○ある程度できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価及び次年度の取り組み
電力・自動車、重機燃料による二酸化炭素排出量の削減	全体評価 ×	基準年度削減率5%目標に対して重機燃料が未達成になった。機械の使用量が増え発電機の燃料使用量が増えた為未達成になった。取り組みとしては、常に意識する事で今後の削減に努めるようにする。
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	○	二カ所の施工現場に仮設ハウスを設置。取組は遵守できていた。
・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	△	業務環境も踏まえ推進していきたい。
・不要照明の消灯	○	施工現場に仮設ハウスを設置。離席する時は消灯する等順守できていた。
・OA機器の省エネモード設定	○	施工現場に仮設ハウスを設置。取組は順守できていた。
・省エネ・高寿命電球等の購入(更新時)	-	更新無し
・アイドリングストップ・エコドライブの推進	○	定着はしてきたが、まだ改善の余地が大きいと思われるので、さらに推進していきたい。
・重機エンジン回転数の抑制	△	受注状況・施工内容・条件によって大きくかわるので類似工事等で単数量で把握していきたい。
・燃費良好・排出ガス対策型等の車重機の購入(更新時)	○	更新無し。リース機械で環境負荷低減の重機を使用して作業効率の見直し改善に結びついた。
・冷房の控えめ使用	△	猛暑時の車中ではA/CをこまめにON・OFFで調節する、内気循環にするなど状況に応じて使い分けるようにしたが、近年の暑さは厳しかった。

＜重機運転時エコドライブの手引き＞



○周知徹底・従業員の意識改善に重点をおいた。

自動車・重機燃料の削減 ガソリン(詳細)

自動車・重機燃料による二酸化炭素排出量の削減(詳細)

注：原単位による補正係数 0.77

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	2,607	3,104	3,724	3,162	3,441	4,136	4,486	3,925	13,011	7,473	3,347	3,136	56,391
今期目標 5%削減	1,907	2,270	2,724	2,313	2,517	3,025	3,282	2,871	9,518	5,467	2,449	2,294	41,250
今期実績	2,495	1,089	783	2,067	5,198	3,349	9,552	9,594	7,942	6,128	4,094	3,115	55,404
判定	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×

□単位 kg-CO₂

2 事業活動工程からの産業廃棄物排出量の削減

取り組み計画	達成状況	評価及び次年度の取り組み
産業廃棄物の削減	全体評価 △	今期は各月によって変動はあったが、リサイクルについては、適正に分別・解体し、リサイクル率100%以上を遵守できた。現場での混合ゴミも排出する前の分別に心がけ排出量削減目標達成を目指していく。

産業廃棄物の削減(詳細)(リサイクル率)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
今期目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
今期実績	100%	100%	100%	100.0%	100%	100.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

判定基準 ○90%以上 △90%以下 ×80%以下

産業廃棄物の削減(詳細)(総排出量)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年		85.03		27.31			139.16			25.27			276.77
目標値 5%		80.78		25.95			132.2			24.01			262.94
実績値 (2024)		50.23		275.91			478.96			0.11			805.2
判定		○		×			×			○			×

□単位 t

3 環境に配慮した施工の推進

取り組み計画	達成状況	評価及び次年度の取り組み
環境に配慮した施工の推進	全体評価 ○	低騒音型建設機械、適正な仮設備計画、適正な環境対策により目標を達成できた。

環境に配慮した施工の推進(詳細)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
今期目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
今期実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□該当する建設機械は低騒音型・排出ガス対策型を使用割合を目標100%とした。

環境関連法規への遵守確認評価の結果及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況は年1回実施し評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去14年間ありません。また、訴訟・地域住民からのクレームもありませんでした。法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	対応	遵守 チェック
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減 ・廃棄物の適正処置の確保 ・産業廃棄物保管基準遵守 ・産業廃棄物処理委託基準の遵守 ・産業廃棄物管理票の管理義務 	○
騒音規制法、振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業の届出 ・規制基準の遵守 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事における第1種特定製品の確認と工事への説明。 ・廃棄する場合は第1種フロン回収業者にフロン類を引き渡す。回収依頼書の写しと取引証明書を3年間保存。 ・業務用エアコンの簡易点検(1回/3か月以上) 	○
資源の有効な利用促進に関する法律(リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みの製品、副産物等の再利用、再生資源再生部品としての再利用促進 	○
「再生資源の利用に関する省令」	<ul style="list-style-type: none"> ・施工場所及び再資源化施設の立地状況など勘察し品質等に配慮しつつ可能な限り再生資源(建設発生土・Co塊・As塊)を利用。 	○
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設資材廃材の発生を抑制するとともに、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化に要する費用を低減するように努める。 	○
徳島県環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県環境基本条例で規定されている事業者の責務の要求事項を満足させる。 	○
徳島県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業(騒音)の届出(騒音規制法により指定地域拡大) 	○

凡例 ○遵守 ×違反

総括(代表者による全体の評価と見直し・指示)

<p>総括(代表者による全体の評価と見直し・指示)</p> <p>事務所での電力使用量が未達成の月があったのは、冷房使用が増加した結果です。外気を取り入れたりしたが暑さが厳しかったため使用量が多くなった。暖房についてはいつもの季節より抑えることができた。体調管理も考えながら適正温度の維持に努めます。現場において二酸化炭素排出量が未達成となったのは、河川の工事が重なったため軽油の使用量が増加しました。産業廃棄物排出量は、未達成となりましたが、施工内容によって大きく変わるので、現場内での分別に取り組み、リサイクルの推進に努めます。これをふまえ今まで以上に環境に配慮し環境負荷削減に取り組んでまいります。</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">環境経営方針</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更なし</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更あり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">環境経営目標・計画</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更なし</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更あり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">実施体制</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更なし</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">変更あり</td> </tr> </table>	環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり	環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり	実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり	<p style="text-align: right;">2025年5月31日 森崎建設株式会社 代表取締役 森崎 善人</p>			
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり															
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり															
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり															